

令和7年度 栗源小学校グランドデザイン

【学校教育目標】

心豊かで、向上心に富む児童の育成

—地域とともに歩む学校運営の実践を通して—

めざす栗っ子像

○**やさしい**子

- ・思いやりのある子
- 相手の立場に立って考え、自分のことも大切にできる

○**かしこい**子

- ・みんなで学ぶ子
- 主体的に学習に取り組み、基礎学力を身につけ、
人との関わり合いで学びを深める

○**たくましい**子

- ・進んで運動する子
- 基本的な生活習慣を身につけ、失敗しても諦めず粘り強く運動に取り組む

全職員の「協働体制」による学校づくりの推進

- 経営推進委員会
- 共通理解
- 教職員の多忙化の解消

目指す教師像

～すべては子どもたちのために～

- 子ども一人一人を大切にする教師
- 自己研鑽に励む教師
- 子どもの健康・安全を常に考える教師

家庭や地域と連携し「開かれた学校づくり」の推進

- 学校ホームページ等の情報発信
- 学校参観日の定期的な設定
- 学校アンケートの計画的な実施
- 見守り活動や行事、人材等、地域との連携
- 特別支援教育における保護者と関係機関との連携

指導の重点

- 「主体的・対話的で深い学び」
- 基礎的・基本的な知識・技能の定着（はげみ）
- 表現力を高める指導の工夫
- 学習意欲と学習の効果を高める指導
- 個に応じた学習指導の充実
- 家庭学習習慣の定着
- 読書習慣の定着
- 学習の個別・最適な学びの展開（ICT利活用）
- 道德教育の推進（体験活動）
- 特別活動による自主性と自己の存在感、連帯感の育成

教育の重点

- 「いじめ」問題の未然防止・早期発見と組織的対応
- 「あいさつ」の励行
- 教育相談活動の推進
- 縦割り活動を充実
- 教育関係機関や中学校との連携
- 情報モラルに関する指導の充実
- 児童のニーズに応じた指導の充実
- ユニバーサルデザインの実践
- 運動に親しむ態度の育成
- 発達に応じた食育
- 安全・安心な学習環境
- 安全・防災教育の実践
- 感染症拡大防止
- 発達段階に応じた体系的なキャリア教育（キャリアパスポートの活用）
- 各教科、特別活動、特別支援教育、道德教育の研修
- 時代の変化に対応
- モラールアップ研修

特色ある学校運営

- コミュニティ・スクール（小中で同時開催の学校運営協議会）
- 地域住民の活動の場（樺の部屋）の開放
- 小中連携教育
- 学校園の活用（サツマイモ栽培）
- 地域行事への積極的な参加（郷土愛の醸成）
- 表彰や課外活動の成果発表の機会の増設（児童の自己肯定感や自己有用感を高める）

